

第433回月例
最終日曜日



http://ygqee.jp/kawasaki/



主催 月例川崎マラソン実行委員会
後援 川崎 市

発行責任者 佐藤 静雄

編集「河原版」編集委員会 (今野雄三・鈴木保・中山浩明)

〒211-0002 川崎市中原区上丸子山王町2-1332
(事務所移転しました) 新日本スポーツ連盟川崎市連盟
(連絡先) Eメール: kawasaki@yg.qee.jp

月例終了後の問合せは市連盟事務所 044-433-1120へ
郵便振替での棄権届を復活します
名義: 新日本スポーツ連盟RC 番号: 00260-4-33100

月例川崎マラソン コース!
3・5・10Kのスタート地点はバックストリート……
(子ども1Kは従来通り)
それに伴い、折り返し、グラウンド・ゴールの入り方も変わっています
2012年1月月例より

さる3月11日、くしくも、東日本大震災の一周年記念と重なった日2012年川崎ハーフマラソンが開催されました。当日、私は丸子橋周辺のコースを監察・給水責任者を務めました。その模様を紹介いたします。前日の雨でコースやグラウンドの状況は、やや泥溜り、大小の水溜りもありました。天気は曇りから徐々に日が射してきました。往路の丸子橋では1000名もの選手が帯のように連なり通過し、壮観でしたが大変です。それでも例年に比べると

川崎ハーフマラソン大会
コース監察・給水を担当して
給水もスムーズにコースに
3年前からICチップを採用してはいますが、今年はスタート

苦勞しました。折り返してくる選手の背中にはドローが跳ね上がっている人が、今年最後の尾のランナーもいつもより早く通過しホッとしました。ゴールの古市場のグラウンドでは震災一周年記念というところもあってスポーツを通して被災地と連帯し「被災地復興」「被災地スポーツマン支援」の暖かい連帯がありました。それもまたホッとですね。(記: 鈴木保編集委員 兼市連盟事務局局長)

第432回月例参加者動向
2012. 2. 26 曇り C0m/s 7.8℃ 53%

種目	男子	女子	合計
10k	244	29	273
5k	258	37	295
3k	幼少	10	47
	中学	6	16
	大人	246	37
計	293	53	346
子ども1k	75	47	122
延べ出場者	870	166	1036
初参加者	53	15	84
棄権	52	18	68
延べ参加者	922	184	1106

年間累計出場者(～2月) 2352)
実数 728 (昨年同月 1723)
◆来月の月例は、4月29日です。
4月から10月までは夏時間。
子供1k 8:15 3K 8:30
5k 9:00 10k 9:30
スタートです。(出場受付は各種目の15分前までに済ませて下さい)

3月11日 2012年 (第15回目)
川崎ハーフマラソン大会開催”無事終了”
大会副会長 佐藤静雄 (月例川崎マラソン会長)
川崎ハーフマラソンは1986年に川崎市が多摩川ハーフマラソン公認コースを完成させたことを記念して98年にスタートし、今年で15回目の記念すべき大会です。古市場グラウンドでの私たちが月例川崎マラソンの長年の活動が後押しする形で設置されたハーフマラソンコースです。今年の川崎ハーフマラソン大会はくしくも、あの震災の一周年の3月11日の開催となりました。前日まで降り続いた雨によって、前日夕刻にはグラウンドがプール状態となり、交流テントも予定した場所に水が溜まり設置出来ず、テントの位置を変更せざるを得ない状態でした。しかし、一夜明けた当日朝に

時点でもランナーを把握できるようにし、途中棄権者も判明出来るように工夫しました。また、70名を超える役員のもと、無事終了することができました。昨年の大会は震災直後の開催で各方面からのエールと心配の声を聞きながら「被災地復興支援」を訴えての開催だったことをあらためて思い浮かべながら、一年経った今大会は、さらに「被災地のランナー支援」を合言葉に、11月に開催されます東北復興支援第29回全国スポーツ祭典陸上競技大会へ被災地三県(岩手・宮城・福島)より選手招待のための募金を訴えお願いましたところ13万円余の暖かいご御支援、ご協力も得られました。参加者並びに関係各位に心から感謝申し上げます。(完)

◆ 300回連続出場賞
598 大高 敏

◆ 250回連続出場賞
402 浅野 茂

◆ 150回連続出場賞
70 森 幸雄 (1月)

◆ 80回連続出場賞
1872 宮内 克哲

◆ 65回連続出場賞
1848 石浜裕一 (1月)

◆ 35回連続出場賞
771 長島 一之
126 本島 周作

◆ 25回連続出場賞
3602 麦倉 均

◆ 15回連続出場賞
4134 額 駿輔
4161 杉原 寛哉
4178 早田 明弘
4183 進藤 恭郎
1268 松崎まど香
1306 額 優衣

◆ 9回連続出場賞
1495 興村 富蔵

◆ 4回連続出場賞
142 夏目 幸生
640 小泉 瑛夫

賞	回数	氏名	賞	回数	氏名
300回	598	大高 敏	15回	4134	額 駿輔
250回	402	浅野 茂	14回	4161	杉原 寛哉
150回	70	森 幸雄	13回	4178	早田 明弘
80回	1872	宮内 克哲	12回	4183	進藤 恭郎
65回	1848	石浜裕一	11回	1268	松崎まど香
35回	771	長島 一之	10回	1306	額 優衣
25回	3602	麦倉 均	9回	1495	興村 富蔵
15回	4134	額 駿輔	8回	142	夏目 幸生
10回	4161	杉原 寛哉	7回	640	小泉 瑛夫
9回	4178	早田 明弘	6回		
8回	4183	進藤 恭郎	5回		
7回	1268	松崎まど香	4回		
6回	1306	額 優衣	3回		
5回	1495	興村 富蔵	2回		
4回	142	夏目 幸生	1回		
3回	640	小泉 瑛夫	0回		
2回					
1回					

先月「河原版」表彰欄 (11年12月～12年2月) 愛
1604は金子夢さんで
3K中女3連勝の間違いでした。訂正します

第432回月例スナップ

写真・インタビュー
中山 浩明

① 「星の子ランナーズ・中川中チーム」
4702 藤巻陽太郎君、4614 稲垣 克君、5029 千葉諒太郎君、4614 川崎昂祐君、4090 磯野 剛君。中川中学に通っている中学1年生・2年生10人で来ました。今日は寒く、走っている途中はきつかったです。最後はスパートできてタイム的にも満足しています。(千葉君談)と写真真は「星の子スペシャルズ」

② 1575 上原葉香ちゃん(連続4回目)今日は苦しかったです。走り終わって後はともつかれた気分になりましたが、しばらくするとまた走りたくなくなります。4476 小林竜暉(連続9回目)先月は30位だったので、今日は20位を目標にして頑張りました。来月はさらに上位を目指します。



足田順子(5km女子3位)の表彰に駆けつけた星の子スペシャルズの皆さん



③ 国際ランナーコンビ 44松井一葉さん、1063綾部しのぶさんのお二人。
(松井さん談)月例は久しぶりの参加です。2年間走れない時がありました。今年大阪国際マラソンで復活しました。タイムも3時間13分でした。名古屋ウイメンズマラソンはもう少しよいタイムで走りたいですね。(綾部さん談)地元横浜国際女子マラソン(左写真)に引き続き、私も名古屋ウイメンズ



国際女子マラソン(左写真)に引き続き、私も名古屋ウイメンズ



④ マラソンに出場します。松井さんとはよくレースでお会いします。お互いにいいレースができればいいと思います。⑤ 2589 佐野雄斗君(小6) 1kmは野球をしていますが、走るのも好きです。⑤ 子ども1K 高瀬紗良ちゃん(2歳)



④ 2589 佐野雄斗君(小6) 1kmは野球をしていますが、走るのも好きです。⑤ 子ども1K 高瀬紗良ちゃん(2歳)

『快汗駄句駄句』 河原六茶(俳号)

【マラソン 五輪代表争い熾烈】
【東京マラソン】
夢を追い しがみつかない 深さ
帝王を 抜いてキップと 金掴む
市民ランナーの星 川内
無職ランナー 藤原新

【びわ湖毎日マラソン】
ノーマーク 韋駄天走り 掴む券
佐川急便 山本
(1959 下山孝雄)

【ナゴヤ ウイメンズ マラソン】
おどきなかざどし ぶいどう のごちあかば
めぐすロンドン きそう女王

【東日本大震災一周年】
おそき春 十四時四十六分 世界じゅう合掌
(茗茶)

『咬まれる』 162 山下 覚

月例エッセー
煩雑な職場環境から開放されてもう3年になった。近頃はもろもろの酒席(夏の海水浴、春の花見、冬の忘年会)にも縁がなくなった。そして、ふりかえるとありし日の宴会の席で、お茶目な先輩のK氏が尾頭付きの鯛に喰いつかれたことがあった。

社交辞令もおわり、目の前の料理と酒で胃袋をみだし、宴もたけなわ時、ほろ酔い気分の先輩が、口パクをやめた鯛のお頭を割り箸でたたいて刺激していた。ひとり口パクをたのしんでいた。その行為に飽きた先輩、何を思ったのか、いきなり自分の指を鯛の口にいれてしまった。そのとき、

死んでいるはずの鯛に咬まれて驚いた先輩のフギヤの悲鳴が会場内に響いたとたん全員あきれ返って嘲笑をしていた。人も無防備で動物に襲われたとき、原始的な行動をすることがわかった。ずいぶん古い話になるが、人が犬を咬む事件があった。散歩をしているとき、突然、犬に襲われた人が、逆に犬に咬みつき撃退したのはよいが、激怒した飼い主に訴えられたのである。人間を威嚇し咬みつきこうとした犬、まさか人に咬まれるとは思ってもみなかったとんな犬である。平成4年7月に父親が亡くなったとき、女房と娘をつれて石垣島

に帰った。葬儀で退屈して遊んでいた娘が従兄弟に腕を噛まれたことがあった。葬儀も終わり親族だけで生前の父親をしのんで、善し悪しを含めた思い出話をしてきたときだった。突然、隣の部屋から妹の大きな声が出た。なにが起きたのか気になって隣の部屋にいくと、娘が泣きそうに顔をしていた。その横で、次男の息子5歳が妹にたしなめられていた。そして娘の左腕を見ると、5歳の息子が噛んだ歯型があざやかに二つついていて、理由をきいてみたが、あやふやだった。当時の娘は4歳だったが6歳児ほどの体形をしていた。逆に未熟児で育った次男の息子は小柄でかわいらしい男の子だった。狭い部屋の娘に強い圧迫感を感じ、いきなり噛むことで難を逃れようとしたのではないかと思った。(完)

診察室のドアへごしに老女の甲高い声が響いてきた。『せんせい、お願いがあるんですけど、もう十分生きてきたので、今後一切の検査は不要に願います。歳をとれば検査の結果にいろんな異常がでるのはあたりまえですから、それにはいしお薬を出していただく代わりに結構です』老齢期に入ると今更、この期に及んで、と、どうしようもない窮地に追いこまれる。体力、時間的なもの、達観、あきらめる理由はいくらかもある。待合室のソファに座っていたら老婆が話しかけてき

た。『もうすぐ静岡県伊東市に移り住むの。この街に終の棲家を用意しました。家の前には松川が真っすぐ海にむかって流れていて、その先にある伊東湾のなぎさ公園はすてきよ』老女の声は伸びやかに弾んでいた。鼻や口が皺に埋まった究極の笑顔で声を大にしてはなした。ひとはだれかの認証を得ないと生きていく実感を受けないのだ。さまざま痛み背負って彼岸花。なんびとも何かに懺悔せずには娑婆苦に堪えることはできない。(完)

月例エッセー 『春めいて残りの時間風に向かう』 134 森 泰之

何時もより遅いうぐいすの初鳴き、河津桜もやつとこの間咲き出し祭りが始まったという電話の向こう。そして11日。多くの人があの震災から一年を迎え、あらためて人は自然の猛威にすすべがないのかと鎮魂の祈りを捧げた。そして原発事故、収束の目途が立たないまま、生まれ育った地に戻れぬ人々がいる。自然の猛威には勝てなくても、人間が創り出した人工物の処理は人間がやらねばならない、補償責任は免れない。東電・国の対応を見届けよう。復興支援にしても「復興庁」の初仕事は被災地からの復興交付金の査定が主の「査定庁」(宮城県知事「天災は忘れたころにやってくる」(寺田寅彦)、日本列島、幾多の地震や暴風などの災害の記憶をたどれば枚挙に暇がない。大海の左うえに位置し、弓のりの日本列島はモンスーンと複雑なプレートの沈み込みによる圧力を受け台風と地震が襲う国。幾多の災害を経験した国民には固有の命や防災にかんする知恵が埋め込まれていると云う。「津波でんどこ」しか「地震に對しより速く、より遠くに、より高く」が石碑に刻まれた地区もあった。陸前高田の一本松も歌になった。「生まれ育った北国の強い心の真ん中に残った奇跡の松があーっ」と。

① ホームページよりEメール「よろず相談」送信も出来ませす。
② バーコードは胸、NOIC前右下へ吊り下げて下さい。
バーコード・NOICは自己管理です。紛失でのバーコード再発行 500円
NOIC再発行場合は、300円かかります
③ 連続賞は4・9・15・25・35・50・65・80・100・130・150・180・200・250・300回があります。15回はNOIC込みシャツ。
50回・100回では賞品をトロフィー又は額入り本人写真の選択可。
また百回・二百回連続賞は、月例チケット。順に(6ヶ月分)(一年分)の選択制(どちらも事前申し出制)連続賞は三百回まで連続三百回達成者は月例名誉会員となります。
④ 棄権届「郵便振替」
名義：新日本スポーツ連盟RC
番号00266-4-333100
復活しました。
(遅いと記録に載らない場合があります)

編集後記
何時もより遅いうぐいすの初鳴き、河津桜もやつとこの間咲き出し祭りが始まったという電話の向こう。そして11日。多くの人があの震災から一年を迎え、あらためて人は自然の猛威にすすべがないのかと鎮魂の祈りを捧げた。そして原発事故、収束の目途が立たないまま、生まれ育った地に戻れぬ人々がいる。自然の猛威には勝てなくても、人間が創り出した人工物の処理は人間がやらねばならない、補償責任は免れない。東電・国の対応を見届けよう。復興支援にしても「復興庁」の初仕事は被災地からの復興交付金の査定が主の「査定庁」(宮城県知事「天災は忘れたころにやってくる」(寺田寅彦)、日本列島、幾多の地震や暴風などの災害の記憶をたどれば枚挙に暇がない。大海の左うえに位置し、弓のりの日本列島はモンスーンと複雑なプレートの沈み込みによる圧力を受け台風と地震が襲う国。幾多の災害を経験した国民には固有の命や防災にかんする知恵が埋め込まれていると云う。「津波でんどこ」しか「地震に對しより速く、より遠くに、より高く」が石碑に刻まれた地区もあった。陸前高田の一本松も歌になった。「生まれ育った北国の強い心の真ん中に残った奇跡の松があーっ」と。